先月号のアンケート「マスクつける？つけない？」

◎今後もつける

家を一歩出たら必ずマスクを着用します。3年の間に顔の一部になっています（高浜・村松正江）。マスクはした方が良いです。理由はコロナが終息した訳ではないです。人が密集する所ではマスクをして森林などで散歩する時ははずして新鮮な酸素を吸いたいです（船橋・渡辺孝幸）。コロナの患者は出ているので高齢者の身ではマスクを引き続きして自衛するようにしています。ノーメイクは良いですね（みつわ台・黒沢博子）。マスク着用生活。家族に高齢者がいる為（稲毛東・すみれ）。しばらくは引き続きマスクを着用します。周りを見ても未だ皆さんが着用しているので着用しないと後ろめたい気持ちになります（稲毛東・もち太郎）。マスクは着用する。大陸から黄砂の飛来もあり手放せないでしょう（椿森・上田晃之）。今後もマスク生活を続けます（マスクを外す人が増えたら感染者がまた増えてきそうでこわいので）（園生・能瀬恵美子）。引き続きマスクを着用するつもりです。高齢の家族も一緒に住んでおり、まだまだコロナは怖いからです（幸町・大浦穂乃香）。私は引き続き着用します。長男（49）は予防接種を3回受けて感染して熱も高くとても大変だったそうです。高齢の私が感染すればまわりの人にも迷惑をかけるので（千城台南・中村幸子）。マスクは今暫く続けたいです。隣の中国から黄砂が飛来してくる心配もあり。室内で卓球や麻雀で若人達と遊ぶので高齢の私達は免疫力も弱いため。自転車で毎日街中を風を切って走る時口許が安全だし。真夏に又考えましょうよ（千城台東・渡弘子）。この数年マスクのお陰で風邪なし。だから今後もつける。（稲毛東・りく）

◎場所による

以前はマスクなしの生活で快適でした。花粉症の心配もなくなってきました。今はマスクと友達。場所によって使い分けています。安全・安心は自己責任でやっていきます。「鼻と口・マスクバリアで安心を」（高洲・戸沢恵子）。友人の手作りマスク、冬は暖かくて良かったです。夏はメガネが曇るのでマスクなしの生活です。でも病院や混雑する場所はマスクを着用致します。何よりもコロナ早く終わってほしいですね（六方・阿部ちい）。徒歩で仕事に行きますので途中はしません。ただし小学生の通学路・バス・電車・公共施設では必ずします（検見川・荒木昭治）。家ではマスクはしないが配達等で人が来た時はマスクを使います。外出時は必ずマスクをします。病院に行った時は帰宅後マスクを捨てます（幸町・松山純子・あさ美）。森の散歩の時はマスクをはずしますが人が集まる所（買い物）は必ずします（あやめ台・一森万亀美）。病院や高齢者施設・混雑する乗り物等にはマスク着用しますがそれ以外は着用しないつもりです。早く着用しないで済むようになって欲しい（浜野・柳澤範光）。

◎もうつけない

マスクは着用しません。マスクをしているとやはり酸素の吸収量が少ないと思います。酸素量は元気な生活をする上で大事なことです。深呼吸は時々することも必要です（あやめ台・杉崎勝）。ジムに通っていますが筋トレでも有酸素運動でも深呼吸酸素を取り入れる必要があります。マスクが個人判断になるとすぐにマスクをやめ、とても楽になりました（園生・関直康）。

※一部抜粋して掲載

新連載　ローカル小説　「応援される人」　後編　草野くれよん

（3月号の続き）

「超……大………吉……。超大吉?」
「そう、超大吉」
「ってなに?」
得意そうに頷かれても、理解できない男子生徒は聞き返すしかなかった。
「ものすごい大吉ってことだけど?」
男子生徒はしばし考え込んでから言った。
「ええと、つまりこれはお神籤か」
「そうだよ。ハンドメイドお神籤。ねぇ、その下に書いてあることもちゃんと読んでよ」
体裁はまったくの自己流だが、内容だけはお神籤に準じようとしているのだろう、細かい運勢が書いてある。
「どうでもいいけど、よくこんな小さい字を手書きで書けるな。妙な才能だな。どれ、『学業。来年、志望する大学に必ず受かります。失せ物。真面目に勉強しないと未来をなくします。争い事。ケンカはダメです。転居。ずっと稲毛にいましょう。でも千葉市内だったら引っ越しも許します。……なぁ、エリコ。これって……」
幼い頃からの友人として、応援してくれているのか。もしかして、遠回しなラブレターかも。ドキドキしながら男子生徒が顔を上げ、女子生徒と目を合わせた。女子生徒はつかの間ニコリとして見せ、スッと目を細めた。
「遠回しなラブレターとか思ってんだったらぶちのめす」
「お、思ってねえよ」
男子生徒は慌ててお神籤に視線を戻す。
「あー、でも、ありがとな」
元気出る、そう言って軽く頭を下げると、女子生徒は「うん」とだけ答えてそっぽを向いた。
幼稚園、小学校、中学校、高校と、ずっと二人は一緒だったが、これから先の進路は違える。大学には進学しないで就職すると彼女から聞いた時、家の事情を察していたものの、男子生徒にとっては小さくない衝撃があった。親の経済状態で、子供の人生設計が決まってしまう現実を、自分だったら受け入れられるだろうか。
「うちは父ちゃんがいないからさ」と笑ってみせる彼女の強張った横顔は忘れられない。
「それにしても」
男子生徒は空気を変えようとして、指に挟んだお神籤をひらひら振った。「なんでわざわざこんな紙に。それも、きっちり丸めてさ。そんな必要あるか」
「ええ? お神籤と言えばそれでしょ」
女子生徒は目を丸くした。「ルーレット式お神籤器に百円入れてレバーを引くと、そういうのが出てくるじゃない」
「……?」
「うち、昔、食堂やってたからいくつもあったよ。テーブルの上に置いてあったじゃない。コースケも店に来たことあるんだから覚えてるでしょ」
「あ……あれか」
記憶を探り当て、男子生徒はハアァと深い溜息をついた。
「エリコはお神籤と言えばあれなのか」
「まあね。でも本物のお神籤も悪くないね」
女子生徒はくいっと顎を上げ、神社の拝殿が建っている高台を示した。「ちょっと引いてく?」
「なんでサラリーマンの一杯やってく、みたいな言い方なんだ」
女子生徒に続いて立ち上がりながら、「けれど、いいのだろうか」と訝しむ。本物のお神籤なんか引いたら、せっかくのハンドメイドお神籤が霞んでしまうのではないだろうか。
こいつのやることは意味不明だと思いながら、男子生徒はハンドメイドお神籤を大事そうにバッグにしまった。

完

著者　草野くれよん
千葉市の稲毛生まれ稲毛育ち。稲毛在住。筋金入りの稲毛者。好きなパンはマロンド。好きな芸能人はマツコ・デラックス。好きなお菓子は万祝餅（まいわいもち）。愛読書は稲毛新聞。

随筆　五月のさわやかな風　吉成庸子

もうすぐゴールデンウイークがやってくる。
ゴールデンウィークといえば、いつも思い出す事がある。儀ちゃんは連休の間、ゴルフに一回行く位でいつも家にいる。あのうるさいオヤジが休みの間中、家にいたら本当に大変だ。私は真剣に考えたあげく、何処かに行けたらと思い当たった。
そして「お父さん、たまには温泉にでも行きたいな。お願い連れて行って」とねだってみた。
「俺は家が一番いい。温泉なんてまっ平だ」と、儀ちゃんは取り合ってくれない。「あ、そうだ。私お墓参りしたいんだ。父のさ。ついでに養老渓谷に泊まろうよ。それなら近くていいでしょ?」「養老渓谷かあ? 昔、銀行の旅行で一回行った事があるなあ。じゃあ行ってみるか」。やっと儀ちゃんの腰があがった。
私はすぐに養老渓谷近くの友人に電話して宿を二泊とってもらった。私は市原出身。父の墓も市原の山奥の静かな部落の中にある。年令差は大分ひらいているので、学校では顔を合わせなかったが、私の父も儀ちゃんも銚子商業の卒業生だ。その縁で私たちは結婚したのだ。
翌日、車で養老渓谷に向かった。滝見苑という旅館だった。そんなに大きくないが清潔で従業員の方々もみんな親切だ。
儀ちゃんはさっそく大風呂に入ってから部屋に戻り、冷たいビールを一杯。そして「たまには旅行も悪くないなあ」なんて言った。「そうでしょ。それにここだったら家から一時間ちょっとだもの。近くていいわ」。私が話しかけたが返事がない。振り返ってみたらゴロンと横になり眠っていた。ビールのコップは空っぽ。窓からは五月の風が吹き込んでいるので気持ちがよかったのだろう。そのまま夕食を食べに食堂に降りるまで眠り続けていたっけ。
私はゆっくり好きな本が読めるので幸せと思ったけど、仕事、仕事と毎日飛び回っている儀ちゃんはやっぱり疲れがたまっているのだろうと少しかわいそうになった。
やがて食事のため一階の食堂へ。テーブルには、すでにおいしそうな料理が並んでいる。「お母さんも今夜は酒飲むか?」。儀ちゃんが聞くので「ウン、飲む、飲む」と私は言った。
珍しく二人で差しつ差されつ飲んでいたら、そこへ旅館のお女将さんがご挨拶に来てくださる。なぜか儀ちゃん、急に立ち上がり「大変お世話になっております。いい所ですねえ。また、寄せてもらいます」なんて言って何度も頭を下げている。
女将さんが食堂を出て行った後、儀ちゃんが「お母さん、あの人、アルバムの人にそっくりだろう?」と言う。「あの、セーラー服着た写真の人、たしかお父さんの初恋の人だったとかいう人?」「そうだ、あの人にそっくりだろう?」「あんまり似てる様に思えないけどな」「いや、良く似ている。ウーン、ビックリだ」。儀ちゃんは、一人で感激していた。
男の人の方が純情なのかなあ。六十年以上前の初恋の人を忘れずにいるなんてさ。あの日の事を思い出す度、なぜか微笑ましい気持ちになる。

次回発行日は6月2日（金）

身近な情報はメール・FAXでお寄せください

会社やお店のプロモーション承ります！
稲毛新聞広告掲載のお申込み
TEL.043-256-4414
または下記ＦＡＸ，メールへお気軽にお問合せください。
22,000 円（税込）～
稲毛新聞への広告掲載の他、ＨＰ制作・チラシ印刷
流通・ポスター・パンフレット等プロモーションに
関することなら何でもご相談ください。
FAX.043-256-4494　info@chiba-shinbun.co.jp

街の治療院のご提案
若返りスイッチオン！
あなたはいくつ当てはまりますか？
意外なことにすべて関連しているんです！
□手足が常に冷えている
□頻尿・尿漏れ
□精力減退・持続力不足
□目が疲れやすい
□疲労感が抜けない
□腰のだるさ・足腰が弱っている
□白髪・脱毛
□手のひら足の裏、首がほてる
東洋医学（鍼・灸）でそんな問題を解決します！

1964年創業
今も昔も変わらないのは
お客様とのふれあいです
これからも私たちは地域の
お客様の笑顔と共に
成長し続けられるよう
努力いたします。
株式会社 オオクシ
http://www.ohkushi.co.jp

令和５年春の全国交通安全運動

令和５年５月１１日（木）～５月２０日（土）

５月２０日（土）は交通事故死ゼロを目指す日　スローガン　～なれた街　いつもの道でも　みぎひだり～

重点目標　①こどもを始めとする歩行者の安全確保　②横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上　③自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

令和5年春の全国交通安全運動が実施されます。5月11日（木）から5月20日（土）迄の10日間で、5月20日（土）は交通事故死ゼロを目指す日です。千葉県の交通安全運動の重点目標と推進事項は以下の通りです。

□**目的**
入学・入園を迎える4月以降は、子どもの関係する交通事故が増加する傾向にあります。そこで子どもたちに交通社会の一員としての自覚と、基本的な交通ルールやマナーを身に付けさせるとともに運転者には歩行者に対する保護意識をより一層醸成するなど県民一人一人が交通ルールの遵守と交通マナーを実践し、交通事故の防止を図ることを目的に実施します。

□**歩行者の交通ルール遵守の徹底**
●横断歩道を渡る、信号を守る等、歩行者側の交通ルールの周知・啓発の推進
●歩行者による横断意思の明示、道路横断時の確実な安全確認などの推奨
●子どもに対する日常生活や教育現場における安全教育の推進

□**歩行者の安全確保**
●通学路や生活道路での見守り活動、交通安全施設の点検確認の推進
●「キラリアップちば※①」による反射材の着用促進
●違法駐車の危険性、迷惑性の周知・啓発の推進

□**運転者の歩行者等への保護意識の向上**
●ゼブラ・ストップ活動※②の推進
●3（サン）ライト運動※③の推進（①早めのライト点灯と小まめな切替え②反射材活用③右からの横断に注意）※ライトは日没前から点灯するようにしましょう。

□**飲酒運転等の根絶**
●県民が一体となって飲酒運転及び周辺者三罪（同乗・車両提供・酒類提供）を根絶する。「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」規範意識の醸成
●ハンドルキーパー運動※の普及とバス、タクシー、鉄道などの公共交通機関及び運転代行の活用促進
●事業所における運転前後のアルコールチェック、飲食店における交通手段確認等の徹底
●飲酒運転根絶宣言など事業所や飲食店による取組みの促進

□**高齢運転者の交通事故防止**
●はればれ運転※の周知・啓発の推進
●運転免許自主返納の促進
●安全運転サポート車の普及促進

□**全座席のシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底**
●シートベルト・チャイルドシートの効果や正しい使用方法の周知・啓発の推進

□**電動キックボード等の安全ルールの周知**
●電動キックボード等の利用者に対する交通ルール・マナーについての広報啓発の推進

□**自転車利用者自身の安全確保**
●全ての自転車利用者におけるヘルメットの着用促進
●自転車損害賠償保険等への加入促進
●定期的な点検整備の促進

□**自転車の交通ルール、マナーの周知徹底**
●飲酒運転、信号無視等の危険な運転を根絶する規範意識の醸成
●「ちばサイクルール」の周知・啓発

※印は千葉県HP「全国交通安全運動千葉県実施要綱」参照

ＪＡＦ千葉支部事務所長　森田　光幸

ＪＡＦ千葉支部では企業・団体様に向け座学型交通安全講習会の講師を派遣しています。安全運転意識の向上や安全行動の実践といった交通事故防止を目的とした社内研修等にお役立ていただけます。「安全運転の基本」「危険予知」「交差点・駐車場での注意」など交通安全啓発のためのカリキュラムを用意し、JAF オリジナルの映像やデータを用いて視覚効果の高い講習をおこなっているのが特長です。ご希望の企業・団体様はＪＡＦ千葉支部までお問合せください。　☎０４３-３０１－０８００

千葉北交通安全協会
会長　中筋秀樹
千葉市稲毛区長沼原町 199-1
千葉北警察署内

千葉西交通安全協会
会長　佐藤春夫
千葉市美浜区真砂 2-1-1
千葉西警察署内

千葉西地区安全運転管理者協議会
会長　市川　進
千葉市美浜区真砂 2-1-1
千葉西警察署内

東栄運送　有限会社
代表取締役　高橋　英広
千葉市中央区神明町 15-11
☎043-243-0755

春の全国交通安全運動
5月11日（木）～5月20日（土）

トヨタ勝又グループ
千葉トヨペット
本社：千葉市美浜区稲毛海岸4-5-1
TEL：043-241-1181

普通・自動車MT・AT　一種　二種　各種限定解除
普通・大型・小型自二輪MT・AT　各種限定解除
二輪準専用コース営業中！卒業生満足度 99.6%
公認 稲毛自動車教習所
ペーパー教習・中途入所も取扱
千葉市稲毛区稲毛 5-31-1
☎ 043-243-7111

千葉鈑金工業 有限会社
各種自動車　鈑金・塗装・車検・整備　フレーム修理・改造・架装
千葉市中央区千葉寺町 1211-1
☎ 043-264-8701

タイヤ激安キャンペーン！
国内最大級プロショップ
クリスタル
千葉市稲毛区園生町 376-5　http://www.c-jpn.com/
TEL.043-287-5888
木曜日定休【国道 16 号線オーツーパーク前】

「りょうえん葬儀」
稲毛陵苑でご利用いただけます。
一日葬　311,300円（税込）より
二日葬　426,800円（税込）より
新型コロナウイルス感染予防の取り組みについて
当山では新型コロナウイルスのさらなる感染拡大を防ぐため、その予防に努めております。当山職員は原則としてマスク着用をいたします。また、ご参拝・ご参列・ご見学の皆さまにおかれましても、苑内でのアルコール消毒やマスク着用などのご協力をお願い申し上げます。ご見学いただく際には、一組ずつの個別対応をさせていただいております。当苑はエントランス・墓域ともに広く開放空間となっておりますので、他のお客様との区画間距離を大きく取ることが可能です。また空調・換気にも気を配っておりますのでご安心して来場ください。

稲毛駅からすぐ、お気軽に手ぶらで室内参拝
利便性
●駅近で専用駐車場も完備
●手ぶらで参拝（線香・お花不要）
●室内のため天候を気にせず参拝
趣き
●緑・水・光を感じられる参拝環境
●和型・洋型の選べるお墓スタイル
●くつろぎの屋上庭園・ラウンジ
安心
●プライベート空間を保つ参拝環境
●オリジナル納骨堂方式（トヨタL&F製）
●最新耐震構造でご遺骨を収蔵

【注意事項】葬儀の運営については、各提携先（葬儀社）に委託します。
稲毛陵苑は檀信徒施設となりますので、当山僧侶がお勤めいたします。
※別途冥加金をお納めください。詳細は職員にお問合ください。

ＪＲ稲毛駅徒歩３分
京成稲毛駅徒歩５分
無料駐車場 30 台完備

これからの供養のかたち
葬儀・納骨・法事すべて執り行えます
開苑時間／8:00～18:00 年中無休（365日開苑）〒263-0031 千葉市稲毛区稲毛東 3-7-5
稲毛陵苑　☎043-388-0559
宗教法人毘沙門堂／稲毛陵苑概要　●一階／管理事務所　二階／本堂・副本堂・法事室　三階／納骨堂（檀信徒向け施設）●許可番号：千葉市保健所第 29-1 号